

<①から⑩の仕訳をしなさい>

- ①平成 30 年 4 月 1 日、スーパーの会社をはじめめるために、建物 1,000,000 円を購入し、仲介手数料（付随費用）200,000 円とともに、小切手を振り出して支払った。

- ②平成 30 年 6 月 1 日、取得価額 300,000 円、減価償却累計額 120,000 円の机を 170,000 円で X 社に売却し、代金は翌月受け取ることとした。（間接法）

- ③平成 30 年 7 月 1 日、Y 社株式を 1 株 100 円で 100 株購入し、証券会社への支払手数料 2,000 円とともに、代金は翌月末に払うこととした。

- ④平成 30 年 7 月 12 日、スーパーの休憩スペースの椅子が壊れたので、修理に出し、修理業者に 10,000 円現金で支払った。

- ⑤ 平成 30 年 8 月 1 日、③で購入した Y 社株式の半分（50 株）を、1 株 150 円で C 社に売却し、代金を C 社振出小切手で受け取った。なお、売却の際に、売却手数料 500 円を現金で支払った。
- ⑥ 平成 30 年 9 月 1 日、P 社に対し、500,000 円を年利 2 % で貸付け、現金を支払った。
- ⑦ 平成 30 年 11 月 30 日、⑤の貸付金を利息とともに回収した。
- ⑧ 平成 30 年 12 月 1 日、社長個人の所得税 100,000 円を会社のお金から現金で支払った。
- ⑨ 平成 31 年 1 月 10 日、建物に関する固定資産税 5,000 円を現金で納付した。

- ⑩ 平成 31 年 3 月 31 日（決算日）、①で購入した建物の減価償却費を計上する。なお、耐用年数は 4 年、残存価額は取得価額の 10%、償却方法は定額法とする。（間接法）

<資産は A、負債は B、収益は C、費用は D を書きなさい>

- ・ 有価証券利息 ()
- ・ 受取利息 ()
- ・ 借入金 ()
- ・ 未収入金 ()
- ・ 未払金 ()
- ・ 買掛金 ()
- ・ 売掛金 ()
- ・ 火災損失 ()
- ・ 盗難損失 ()
- ・ 売上 ()
- ・ 貸付金 ()
- ・ 租税公課 ()